

私は非常に感心しておりました。だからこそ、日本に留学して先端医療技術を学ぶことはずっと憧れておりました。また、私は医者免許証を取得しており、中国外科専門医の訓練を受けました。熊大病院消化器外科の馬場秀夫教授の研究課題に大変興味をもっており、先生のもとで研究したいと考えて留学してきました。

今の時点で胃癌の癌関線維化芽細胞に注目した研究を行っております。具体的には癌関線維化芽細胞と胃癌細胞をマウスに共移植し、腫瘍の増殖能や血管への浸潤、血管外への遊走能を確認することです。大学院を卒業した後、自分の研究に関連するキャリアを選択したいと考えております。未来は立派な研究者となった上に、患者さんの痛みを和らげられる外科医として、社会に還元したいと思っております。



熊本大学大学院医学教育部
多次元生体イメージング学
博士課程二年
スッパ・ラオ・マテュラ

この度は肥後医育振興会外国人奨学金を賜り、誠にありがとうございます。ご

定年退職しているため家族からの経済的支援はなく、博士課程の研究を継続する大きな助けとなりました。心より感謝申し上げます。

私は二〇一八年十一月に熊本大学国際先端医学研究機構（IRCMS）の

国際インターンシップに参加した際、生体マウスにおいて脳イメージングを行っている水野研究室に興味を持ち、二〇一九年に四月に熊本大学に入学しました。

博士課程入学からの一年半で、脳神経細胞を蛍光標識するための子宮内エレクトロポレーション技術や、基礎的な分子生物学・組織学実験手法を学びました。今後これらの技術を用い、脳回路形成の分子細胞メカニズムの解明を行いたいと思っております。またこれらの技術習得と並行し、脳神経回路形成メカニズムに関する総説論文を筆頭著者として執筆しました。この論文は採択され、印刷中です。

生体脳イメージングは脳疾患のメカニズムを解明することにも有用と考えています。卒業後は、熊本大学での経験を活かし、人の脳疾患の治療に繋がる研究を行いたいと思っております。



熊本大学大学院医学教育部
消化器外科学 博士課程三年
付 凌峰

私は中国からの留学生の付 凌峰と申します。昨年度と今年度の肥後医育振興会の奨学

生にお選びいただき、誠にありがとうございます。選考委員会の先生方や関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

私は中国にいた時に、消化器外科の医師として、治療に関する専門的知識を深めるために、常に消化器癌に関連

する文献と資料を調べていきましたが、日本でもより深く癌進展機構や治療法について勉強し研究したいという意欲がますます強くなってきました。

二〇一七年十月から、熊本大学の研究生として研究に従事し、癌生物学に関わる様々な実験技術を習得しました。今年の四月から博士課程に進学し指導教授と研究室の先輩たちは私の研究を支えてくれ、忍耐の大切さも教えてくれます。私が正しいことをおこなえるように助けてくれ、より良い方向に導いてくれます。私の現在の研究は、印環細胞癌特異的に発現する遺伝子の中で生物学的悪性度に関わる分子による胃癌進展メカニズムを明らかにすることです。胃癌の罹患率は日本、中国、韓国などの東アジアにおいて高く、その中でも印鑑細胞癌は浸潤性増殖を来たすために予後不良な組織型と考えられています。

今回の奨学金を励みに、本研究を発展できるように精進して、胃癌の特異性の理解を進め、いつか人類の未来に微力を尽くします。最後になりましたが、ご推薦いただきました消化器外科の馬場秀夫教授に感謝申し上げます。

* * *

熊本大学大学院医学教育部
消化器外科学 博士課程三年
胡 熙晨

この度は肥後医育振興会助成金を賜り、誠にありがとうございます。御選考にあたら

れました先生方ならびに、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

私は中国からの留学生で、現在は熊本大学医学教育部の消化器外科分野に大学院生として、非ウイルス性肝臓癌について研究を行ってまいりました。

肝細胞癌を含む原発性肝臓癌は世界で六番目に多く発症する癌であり、年間死亡数は七十八・一万人と肺癌、大腸癌、胃癌に次いで四番目に死亡数が多い癌です。肝細胞癌のリスクファクターに関してはC型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルスが全体の約八割を占めており、これらは近年減少傾向にあると言われています。また食の欧米化や生活習慣病から非アルコール性脂肪性肝炎などが増加傾向にあります。ただし、代謝性疾患によって引き起こされる肝細胞癌のメカニズムは不明です。プロスタグランジンE2はよく知られた発がん物質であり、多くのがんの発症と密接に関連しています。本研究の目的は、PGE2の蓄積が代謝性肝炎の肝細胞に遺伝的損傷を引き起こし、変異遺伝子が細胞をアポトーシスに耐性にし、変異遺伝子を含む生存細胞が分化と増殖を続け、最終的にはがんが発生します。

今回の受賞を励みに今後も努力していきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。

